

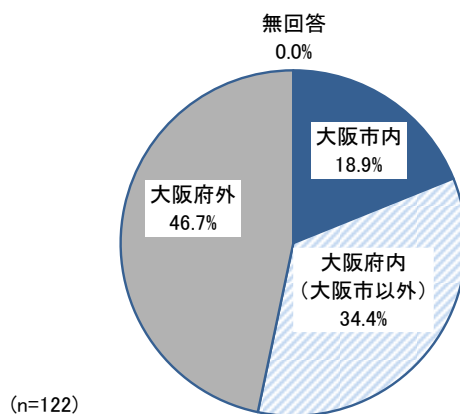
第7章 障がい者（児）基礎調査（入所施設管理者用） 調査結果

1. 施設の概要

（1）施設の所在地

問1	貴施設の所在地について、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。	単一回答
----	------------------------------------	------

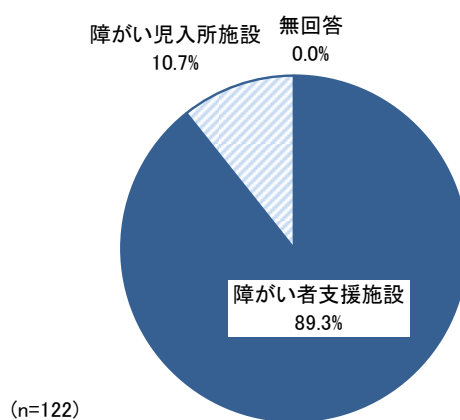
図表 7-1-1 施設の所在地



（2）施設の種別

問2	貴施設の種別について、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。	単一回答
----	-----------------------------------	------

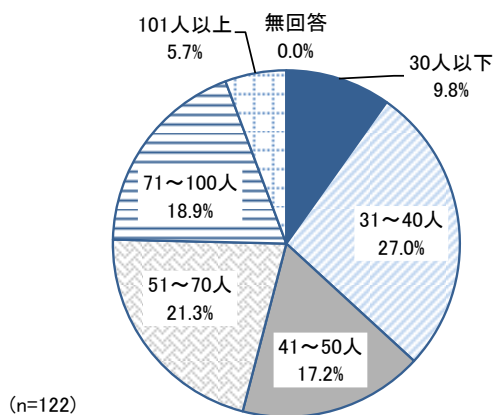
図表 7-1-2 施設の種別



(3) 入所定員

問3 貴施設の入所定員について、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。 単一回答

図表 7-1-3 入所定員



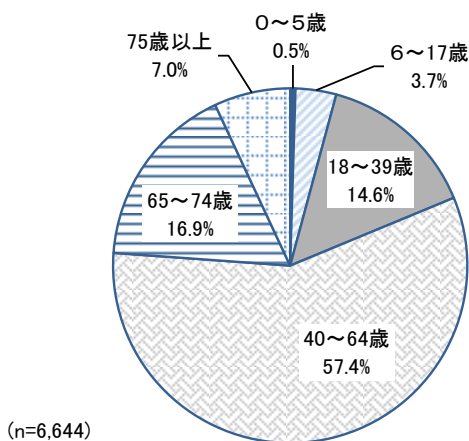
		n	30人以下	31~40人	41~50人	51~70人	71~100人	101人以上	無回答
全体		122	9.8	27.0	17.2	21.3	18.9	5.7	0.0
問2 施設の種類	障がい者支援施設	109	7.3	29.4	18.3	21.1	20.2	3.7	0.0
	障がい児入所施設	13	30.8	7.7	7.7	23.1	7.7	23.1	0.0

(4) 入所者の年齢構成

問4 貴施設に入所されている方の年齢構成について、次の各年齢層にあてはまる人数を記載してください。 数値記入

前回同様「40～64歳」が57.4%で最も多く、次いで「65～74歳」が16.9%、「18～39歳」が14.6%と続いています。

図表 7-1-4 入所者の年齢構成



【参考】前回調査結果
 ・40～64歳 54.8%
 ・65～74歳 19.0%
 ・18～39歳 15.4%

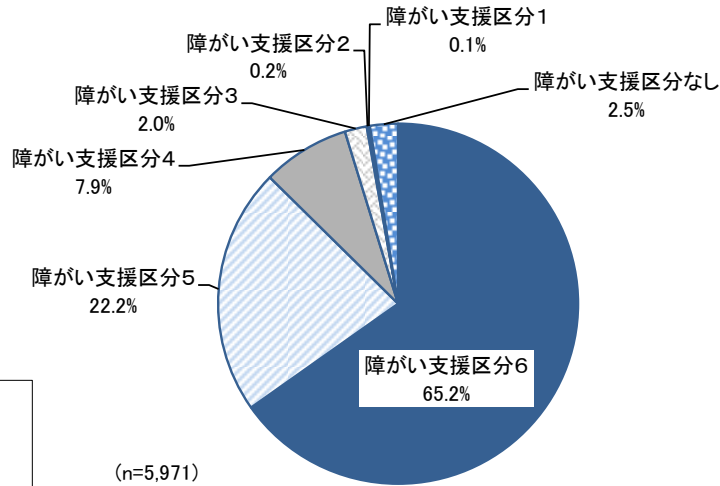
※記載された人数で集計

(5) 入所者の障がい支援区分の構成

問5	貴施設に入所されている方の障がい支援区分の構成について、次の各区分にあてはまる人数を記載してください。	数値記入
-----------	---	------

前回同様「障がい支援区分6」が65.2%で最も多く、次いで「障がい支援区分5」が22.2%、「障がい支援区分4」が7.9%と続いています。

図表 7-1-5 入所者の障がい支援区分の構成



【参考】 前回調査結果
・障がい支援区分6 57.0%
・障がい支援区分5 27.1%
・障がい支援区分4 10.9%

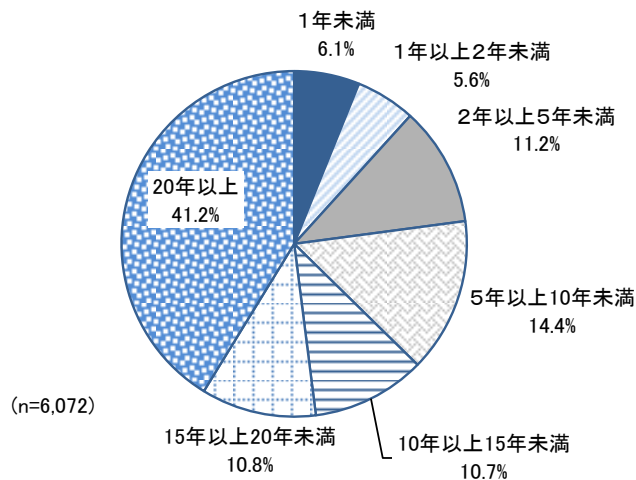
※記載された人数で集計

(6) 入所者の入所期間の構成

問6	貴施設に入所されている方の入所期間の構成について、次の期間にあてはまる人数を記載してください。	数値記入
-----------	---	------

「20年以上」が41.2%で最も多く、次いで「5年以上10年未満」が14.4%、「2年以上5年未満」が11.2%と続いています。

図表 7-1-6 入所者の入所期間の構成



【参考】 前回調査結果
・20年以上 36.9%
・5年以上10年未満 15.9%
・10年以上15年未満 14.0%

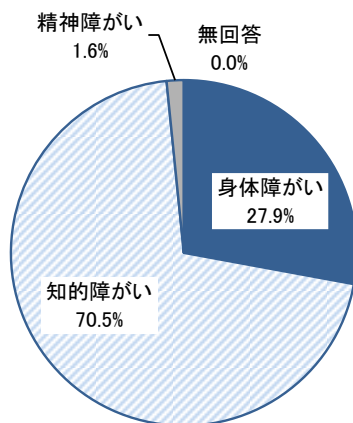
※記載された人数で集計

(7) 入所者の最も多い障がいの種別

問7	貴施設に入所されている方について、最も多い障がいの種別は次のうちどれですか。	単一回答
-----------	--	------

前回同様「知的障がい」が70.5%で最も多く、次いで「身体障がい」が27.9%、「精神障がい」が1.6%と続いています。

図表 7-1-7 入所者の最も多い障がいの種別



【参考】 前回調査結果
・知的障がい、70.7%
・身体障がい、27.6%
・精神障がい、1.7%

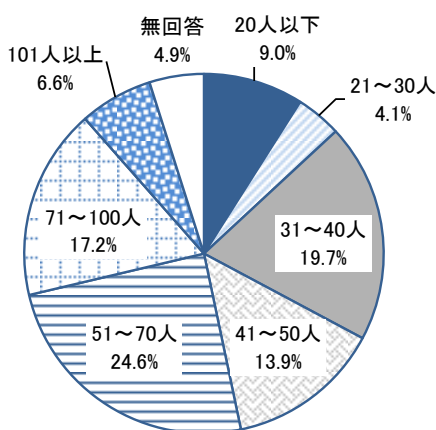
(n=122)

(8) 日中活動系サービスの利用定員

問8	貴施設の主たる日中活動系サービスの利用定員について、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。	単一回答
-----------	--	------

「51~70人」が24.6%で最も多く、次いで「31~40人」が19.7%、「71~100人」が17.2%と続いています。

図表 7-1-8 日中活動系サービスの利用定員



【参考】 前回調査結果
・51~70人 36.2%
・31~40人 19.8%
・41~50人 12.1%

(n=122)

		n	20人以下	21~30人	31~40人	41~50人	51~70人	71~100人	101人以上	無回答
全体		122	9.0	4.1	19.7	13.9	24.6	17.2	6.6	4.9
問2 施設の種類の	障がい者支援施設	109	3.7	3.7	22.0	15.6	27.5	18.3	6.4	2.8
	障がい児入所施設	13	53.8	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7	23.1

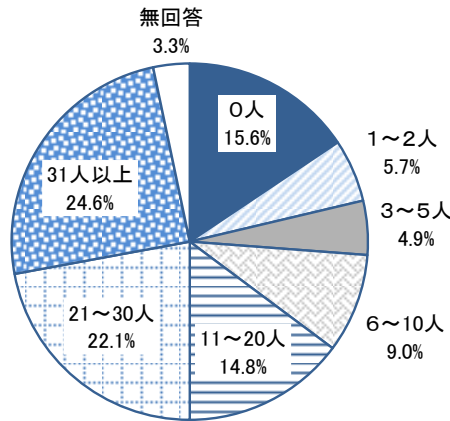
2. 強度行動障がいのある方への支援について

（1）強度行動障がいのある方の入所者数

問9	貴施設において、強度行動障がいのある方の入所者数について、当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。	単一回答
----	---	------

「31人以上」が24.6%で最も多く、次いで「21～30人」が22.1%、「0人」が15.6%と続いています。

図表 7-2-1 強度行動障がいのある方の入所者数



【参考】前回調査結果
・0人 21.6%
・31人以上 15.5%
・21～30人 14.7%

(n=122)

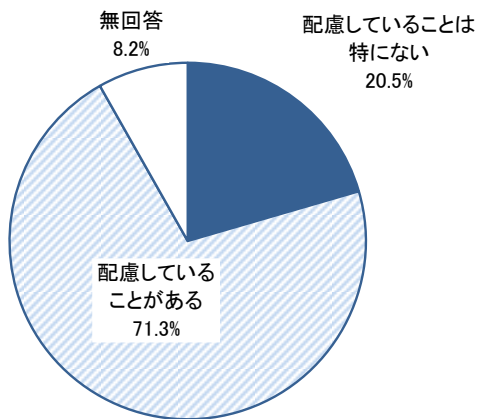
		n	0人	1～2人	3～5人	6～10人	11～20人	21～30人	31人以上	無回答
全体		122	15.6	5.7	4.9	9.0	14.8	22.1	24.6	3.3
問2 施設の種類	障がい者支援施設	109	11.9	4.6	5.5	9.2	14.7	23.9	27.5	2.8
	障がい児入所施設	13	46.2	15.4	0.0	7.7	15.4	7.7	0.0	7.7

（2）強度行動障がいのある方への配慮

問10① 貴施設において、強度行動障がいのある方に対して配慮していることはありますか。 **単一回答**

前回同様「配慮していることがある」が71.3%で最も多く、「配慮していることは特にない」が20.5%と続いています。

図表 7-2-2 強度行動障がいのある方への配慮



【参考】前回調査結果
 ・配慮していることがある 63.8%
 ・配慮していることは特にない 18.1%

(n=122)

		n	に配 慮し てい るこ とは 特	る配 慮し てい るこ とが あ	無 回 答
全 体		122	20.5	71.3	8.2
問2 施設の種類	障がい者支援施設	109	19.3	74.3	6.4
	障がい児入所施設	13	30.8	46.2	23.1

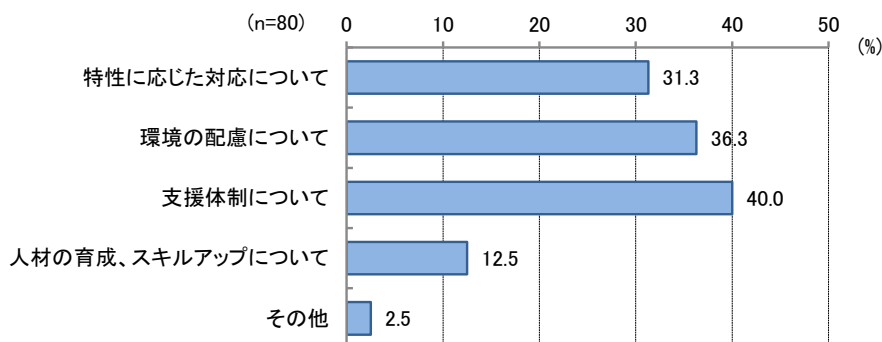
（3）強度行動障がいのある方への配慮についての具体的内容

問10②	配慮している具体的なことについて、次にご記入ください。	自由記述
------	-----------------------------	------

「支援体制について」が40.0%で最も多く、次いで「環境の配慮について」が36.3%、「特性に応じた対応について」が31.3%と続いています。

図表 7-2-3 強度行動障がいのある方への配慮についての意見

総数	自由記述有	自由記述無
122	80 (65.6%)	42 (34.4%)



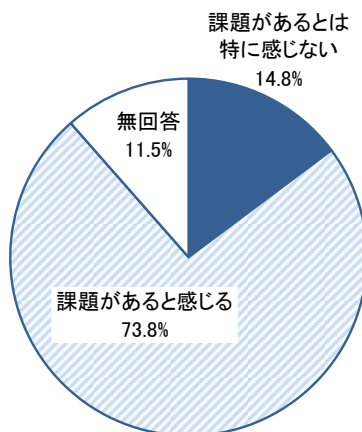
- ・言葉で理解が難しい方に対しては、写真や絵カードを使い視覚化する。
- ・集団が苦手な方に対しては、居室などで日中活動・食事ができるように配慮している。
- ・あらかじめ危険なものは除けておくなど環境整備をしている。
- ・見通しを持ちやすいよう絵カードを使用したり、コミュニケーションツールとして PECS を使用したりしている。

（4）強度行動障がいのある方への支援の課題

問11①	貴施設における強度行動障がいのある方に対する支援として、課題があると思われることはありますか。	単一回答
------	---	------

前回同様「課題があると感じる」が73.8%で最も多く、「課題があるとは特に感じない」が14.8%と続いています。

図表 7-2-4 強度行動障がいのある方への支援の課題



【参考】前回調査結果
・課題があると感じる 64.7%
・課題があるとは特に感じない 14.7%

(n=122)

		n	課題があるとは特に感じない	課題があると感じる	無回答
全体		122	14.8	73.8	11.5
問2 施設の種類	障がい者支援施設	109	13.8	77.1	9.2
	障がい児入所施設	13	23.1	46.2	30.8

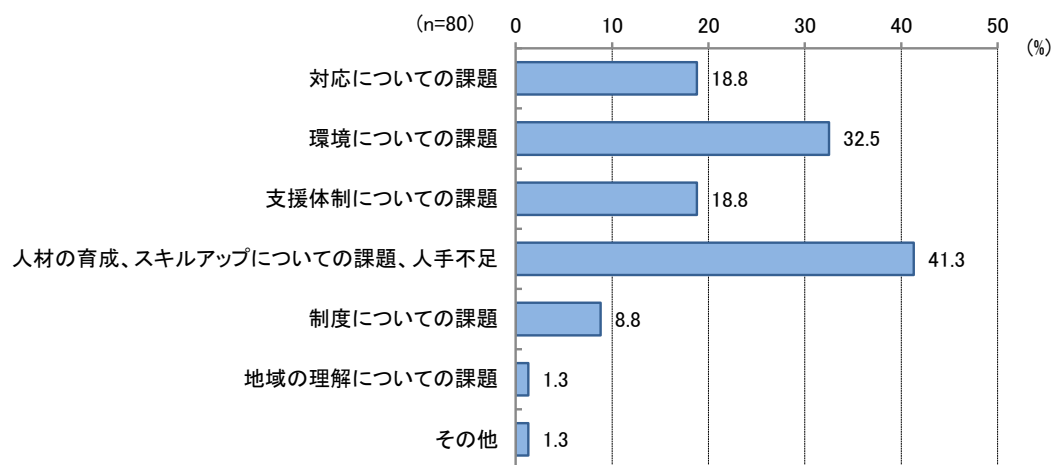
（5）強度行動障がいのある方への支援の課題についての具体的内容

問11②	課題があると感じていることについて、次にご記入ください。	自由記述
------	------------------------------	------

「人材の育成、スキルアップについての課題、人手不足」が41.3%で最も多く、次いで「環境についての課題」が32.5%、「対応についての課題」、「支援体制についての課題」が18.8%と続いています。

図表 7-2-5 強度行動障がいのある方への支援の課題についての意見

総数	自由記述有	自由記述無
122	80 (65.6%)	42 (34.4%)



- ・施設利用希望者や待機者が多く、対応しきれていない。
- ・児童によってどのような対応が有効なのかの判断に時間を要す。
- ・自傷、他害等、パニックになった際の安全の確保が難しい。

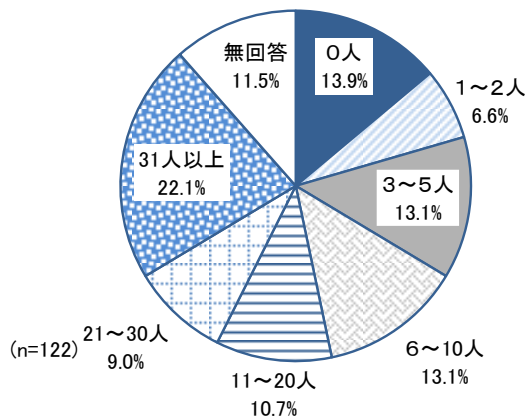
3. 発達障がいのある方への支援について

（1）発達障がいのある方の入所者数

問12	貴施設において、発達障がいのある方の入所者数について、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。	単一回答
------------	---	------

「31人以上」が22.1%で最も多く、次いで「0人」が13.9%、「3～5人」、「6～10人」がそれぞれ13.1%と続いています。

図表 7-3-1 発達障がいのある方の入所者数



【参考】前回調査結果
・0人 21.6%
・31人以上 18.1%
・11～20人 15.5%

		n	0人	1～2人	3～5人	6～10人	11～20人	21～30人	31人以上	無回答
全体		122	13.9	6.6	13.1	13.1	10.7	9.0	22.1	11.5
問2 施設の種類	障がい者支援施設	109	11.9	6.4	12.8	12.8	10.1	10.1	22.9	12.8
	障がい児入所施設	13	30.8	7.7	15.4	15.4	15.4	0.0	15.4	0.0

（2）発達障がいのある方への配慮

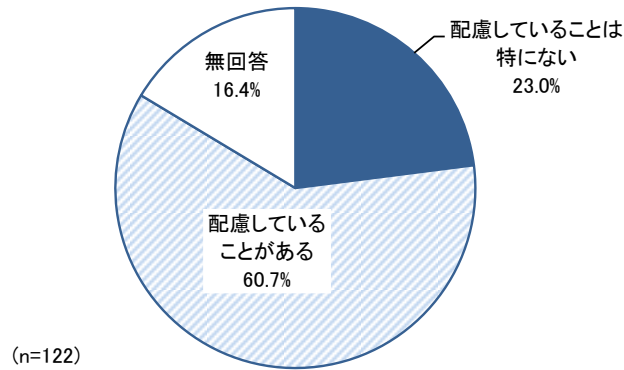
問13①

貴施設において、発達障がいのある方に対して、配慮していることはありますか。

単一回答

前回同様「配慮していることがある」が60.7%で最も多く、「配慮していることは特にない」が23.0%と続いています。

図表 7-3-2 発達障がいのある方への配慮



【参考】前回調査結果

- ・ 配慮していることがある 57.8%
- ・ 配慮していることは特にない 20.7%

		n	に 配 慮 し て い る こ と は 特 に な い	配 慮 し て い る こ と が あ る	無 回 答
全体		122	23.0	60.7	16.4
問2 施設の種類	障がい者支援施設	109	24.8	60.6	14.7
	障がい児入所施設	13	7.7	61.5	30.8

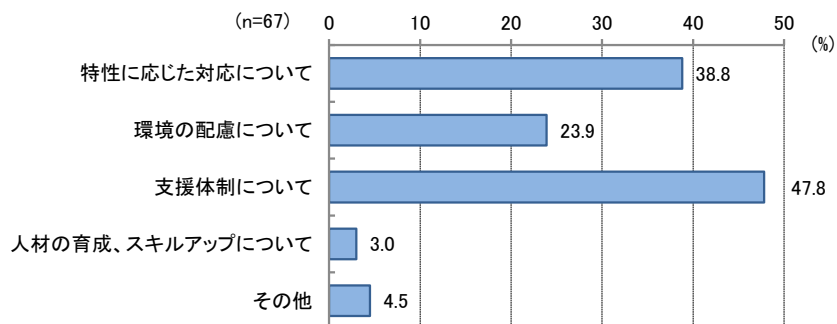
（3）発達障がいのある方への配慮についての具体的な内容

問13②	配慮している具体的なことについて、次にご記入ください。	自由記述
-------------	-----------------------------	------

「支援体制について」が47.8%で最も多く、次いで「特性に応じた対応について」が38.8%、「環境の配慮について」が23.9%と続いています。

図表 7-3-3 発達障がいのある方への配慮についての意見

総数	自由記述有	自由記述無
122	67 (54.9%)	55 (45.1%)



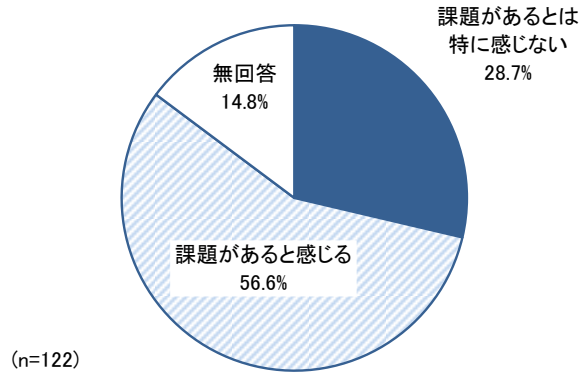
- ・ 座席の位置や関わり方を職員間で統一して支援している。
- ・ 本人の特性に合わせ、声かけの仕方を短く分かりやすくする。
- ・ 急な変更をなるべく避けて見通しを伝えるなどの配慮を行っている。
- ・ 1日の流れを視覚化し、毎日決まったスケジュールで過ごす。

（4）発達障がいのある方への支援の課題

問14①	貴施設における発達障がいのある方に対する支援として、課題があると思われることはありますか。	単一回答
------	---	------

前回同様「課題があると感じる」が56.6%で最も多く、「課題があるとは特に感じない」が28.7%と続きます。

図表 7-3-4 発達障がいのある方への支援の課題



【参考】前回調査結果
 ・課題があると感じる 53.4%
 ・課題があるとは特に感じない 22.4%

		n	課題があるとは特に感じない	課題があると感じる	無回答
全体		122	28.7	56.6	14.8
問2 施設の種類	障がい者支援施設	109	30.3	57.8	11.9
	障がい児入所施設	13	15.4	46.2	38.5

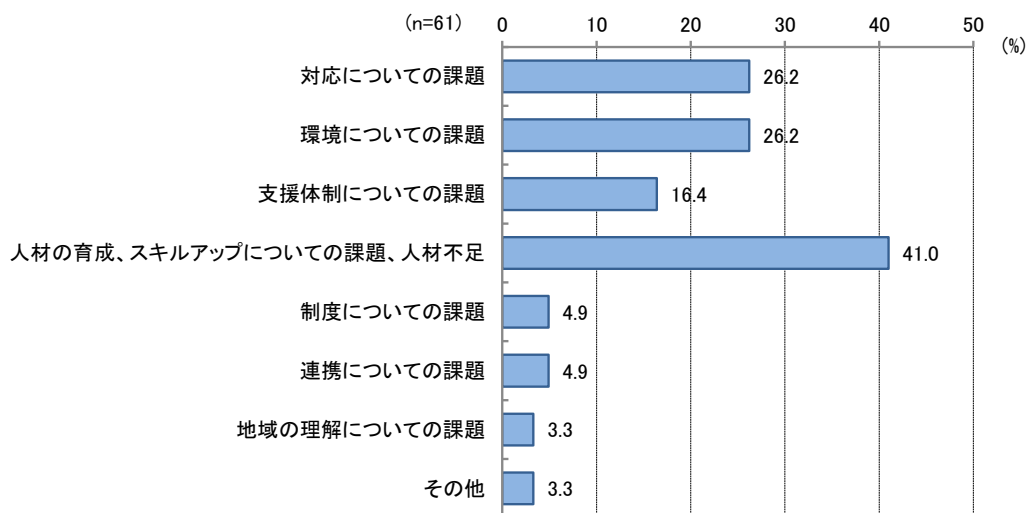
（5）発達障がいのある方への支援の課題についての具体的内容

問14②	課題があると感じていることについて、次にご記入ください。	自由記述
------	------------------------------	------

「人材の育成、スキルアップについての課題、人手不足」が41.0%で最も多く、次いで「対応についての課題」、
「環境についての課題」が26.2%、「支援体制についての課題」が16.4%と続いています。

図表 7-3-5 発達障がいのある方への支援の課題についての意見

総数	自由記述有	自由記述無
122	61 (50.0%)	61 (50.0%)



- ・職員の入れ換えが多く、統一した支援が難しい。
- ・集団生活であり、周りの騒音が気になる。クールダウンできる場所がない。
- ・マンパワー不足、一人一人のニーズに答えられない。

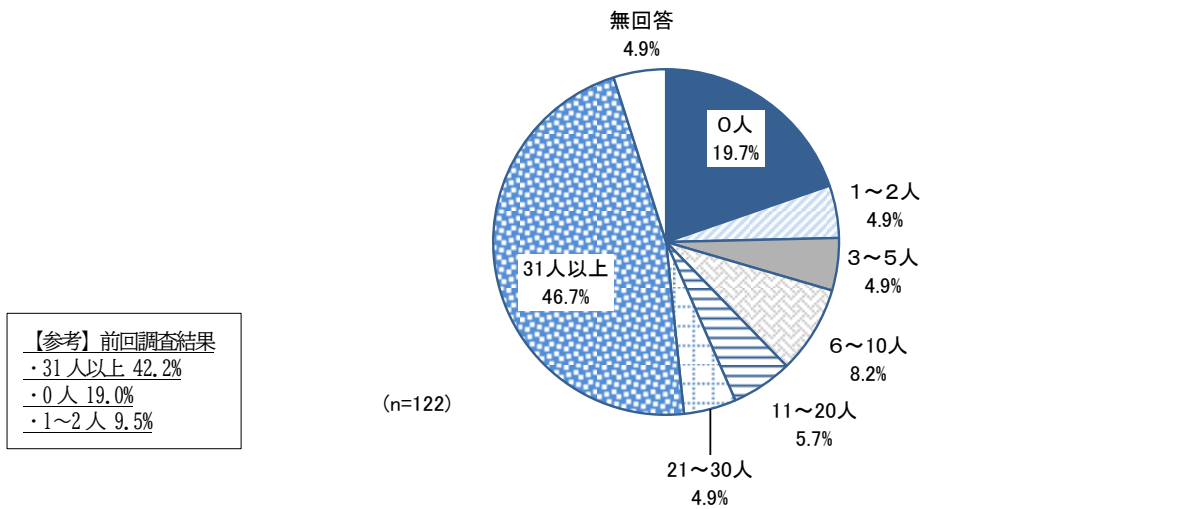
4. 医療的ケアの必要な方への支援について

（1）医療的ケアの必要な方の入所者数

問15	貴施設において、医療的ケアの必要な方の入所者数について、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。	単一回答
-----	--	------

「31人以上」が46.7%で最も多く、次いで「0人」が19.7%、「6～10人」が8.2%と続いています。

図表 7-4-1 医療的ケアの必要な方の入所者数



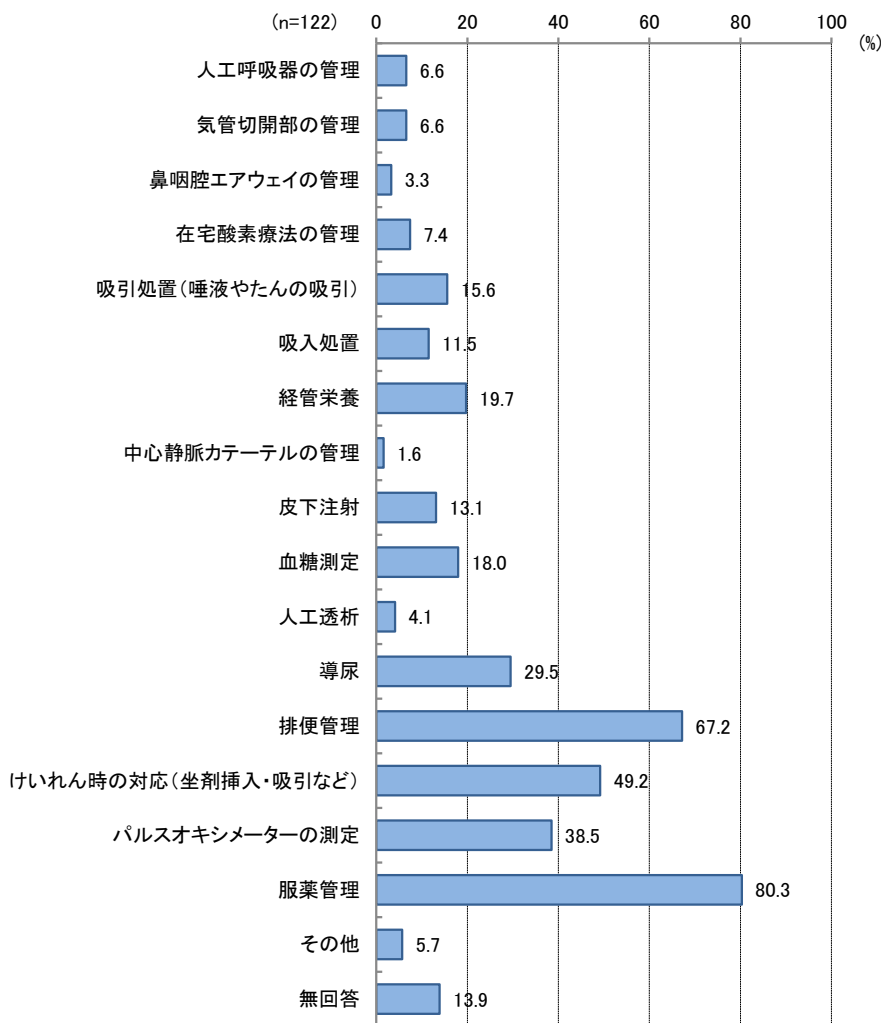
		n	0人	1～2人	3～5人	6～10人	11～20人	21～30人	31人以上	無回答
全体		122	19.7	4.9	4.9	8.2	5.7	4.9	46.7	4.9
問2 施設の種類	障がい者支援施設	109	20.2	3.7	5.5	6.4	5.5	4.6	49.5	4.6
	障がい児入所施設	13	15.4	15.4	0.0	23.1	7.7	7.7	23.1	7.7

(2) 必要としている医療的ケア

問16	現在、貴施設の入所者が必要としている医療的ケアについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。	複数回答
-----	---	------

前回同様「服薬管理」が80.3%で最も多く、次いで「排便管理」が67.2%、「けいれん時の対応（坐剤挿入・吸引など）」が49.2%と続いています。

図表 7-4-2 必要としている医療的ケア



【参考】 前回調査結果	
・服薬管理	76.7%
・排便管理	57.8%
・けいれん時の対応（坐剤挿入・吸引など）	42.2%

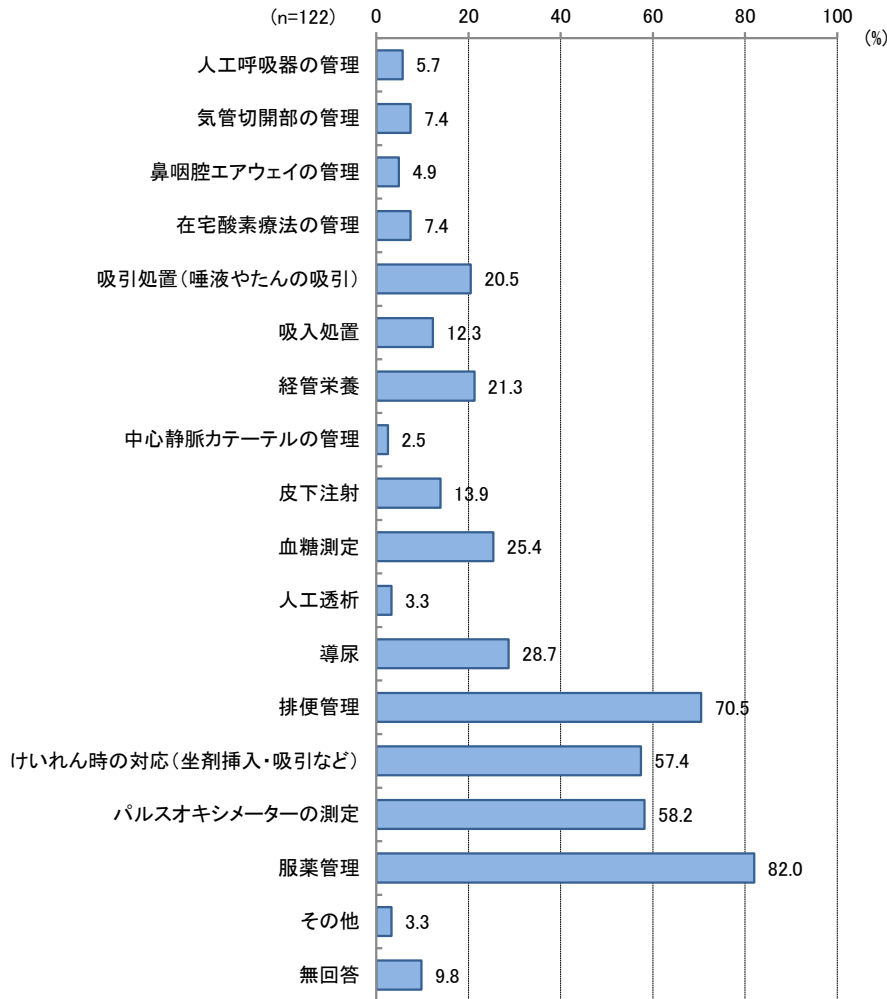
施設の種類	n	人工呼吸器の管理	気管切開部の管理	鼻咽腔エアウェイの管	在宅酸素療法の管理	吸引処置(唾液やたんの吸引)	吸入処置	経管栄養	中心静脈カテーテルの管理	皮下注射	血糖測定	人工透析	導尿	排便管理	けいれん時の対応(坐剤挿入・吸引など)	パルスオキシメーターの測定	服薬管理	その他	無回答
		全体	122	6.6	6.6	3.3	7.4	15.6	11.5	19.7	1.6	13.1	18.0	4.1	29.5	67.2	49.2	38.5	80.3
問2 障がい者支援施設	109	1.8	1.8	0.0	5.5	11.9	6.4	16.5	0.0	9.2	16.5	3.7	27.5	66.1	45.9	34.9	79.8	4.6	15.6
障がい児入所施設	13	46.2	46.2	30.8	23.1	46.2	53.8	46.2	15.4	46.2	30.8	7.7	46.2	76.9	76.9	69.2	84.6	15.4	0.0

(3) 対応可能な医療的ケア

問17 貴施設において対応可能な医療的ケアについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。 複数回答

前回同様「服薬管理」が82.0%で最も多く、次いで「排便管理」が70.5%、「パルスオキシメーターの測定」が58.2%と続いています。

図表 7-4-3 対応可能な医療的ケア



【参考】 前回調査結果
 ・服薬管理 79.3%
 ・排便管理 59.5%
 ・パルスオキシメーターの測定 54.3%

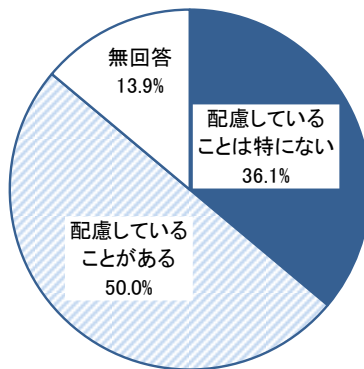
	n	人工呼吸器の管理	気管切開部の管理	鼻咽腔エアウェイの管理	在宅酸素療法の管理	吸引処置(唾液やたんの吸引)	吸入処置	経管栄養	中心静脈カテーテルの管理	皮下注射	血糖測定	人工透析	導尿	排便管理	けいれん時の対応(坐剤挿入・吸引など)	パルスオキシメーターの測定	服薬管理	その他	無回答	
全体	122	5.7	7.4	4.9	7.4	20.5	12.3	21.3	2.5	13.9	25.4	3.3	28.7	70.5	57.4	58.2	82.0	3.3	9.8	
問2 施設の種類																				
障がい者支援施設	109	0.9	2.8	0.0	5.5	16.5	8.3	17.4	0.0	10.1	23.9	3.7	25.7	69.7	54.1	56.0	81.7	2.8	11.0	
障がい児入所施設	13	46.2	46.2	46.2	23.1	53.8	46.2	53.8	23.1	46.2	38.5	0.0	53.8	76.9	84.6	76.9	84.6	7.7	0.0	

（4）医療的ケアの必要な方への配慮

問18① 貴施設において、医療的ケアの必要な方に対して配慮していることはありますか。 単一回答

前回同様「配慮していることがある」が50.0%で最も多く、「配慮していることは特にない」が36.1%と続いています。

図表 7-4-4 医療的ケアの必要な方への配慮



(n=122)

【参考】 前回調査結果
 ・配慮していることがある 62.1%
 ・配慮していることは特にない 20.7%

		n	に配慮していることは特	る配慮していることがあ	無回答
全体		122	36.1	50.0	13.9
問2 施設の種類	障がい者支援施設	109	36.7	48.6	14.7
	障がい児入所施設	13	30.8	61.5	7.7

（5）医療的ケアの必要な方への配慮についての具体的内容

問18②

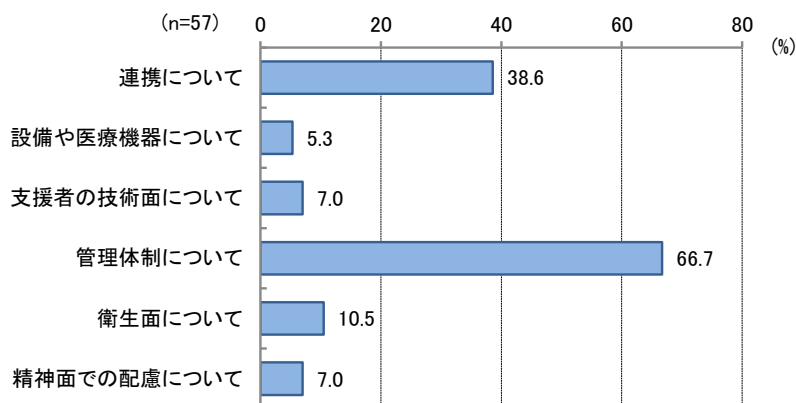
配慮している具体的なことについて、次にご記入ください。

自由記述

「管理の体制について」が66.7%で最も多く、次いで「連携について」が38.6%、「衛生面について」が10.5%と続いています。

図表 7-4-5 医療的ケアの必要な方への配慮についての意見

総数	自由記述有	自由記述無
122	57 (46.7%)	65 (53.3%)



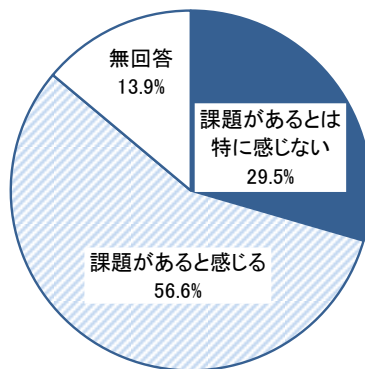
- ・服薬管理を確実にを行うため、ダブルチェック体制をとっている。
- ・支援と医務が連携をとり、こまめに経過を共有している。
- ・重症度が高い患者は個室管理し、職員が定期的に観察できるよう努めている。
- ・病院受診が必要な際は家族・関係機関と連携し、速やかに対応できるよう配慮している。

（6）医療的ケアの必要な方への支援の課題

問19①	貴施設における医療的ケアの必要な方に対する支援として、課題があると思われることはありますか。	単一回答
------	--	------

前回同様「課題があると感じる」が56.6%で最も多く、「課題があるとは特に感じない」が29.5%と続いています。

図表 7-4-6 医療的ケアの必要な方への支援の課題



(n=122)

<p>【参考】前回調査結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題があると感じる 63.8% ・課題があるとは特に感じない 19.8%
--

		n	課題がない があるとは特に 感じない	課題がある と感じる	無 回 答
全 体		122	29.5	56.6	13.9
問2 施設の種類	障がい者支援施設	109	28.4	58.7	12.8
	障がい児入所施設	13	38.5	38.5	23.1

（7）医療的ケアの必要な方への支援の課題についての具体的内容

問19②

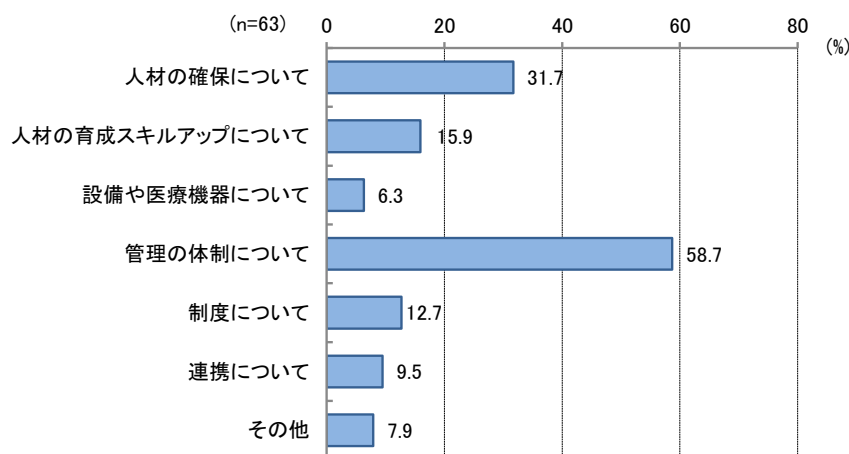
課題があると感じていることについて、次にご記入ください。

自由記述

「管理の体制について」が58.7%で最も多く、次いで「人材の確保について」が31.7%、「人材の育成スキルアップについて」が15.9%と続いています。

図表 7-4-7 医療的ケアの必要な方への支援の課題についての意見

総数	自由記述有	自由記述無
122	63 (51.6%)	59 (48.4%)



- ・薬の落下、下剤の誤薬、伝達ミスや確認不足などのトラブルが多くある。
- ・資格をもった職員が少ない。募集しても応募がない。
- ・人手不足のため、現在実施している事以外で新たな医療ケアを実施する事ができない。

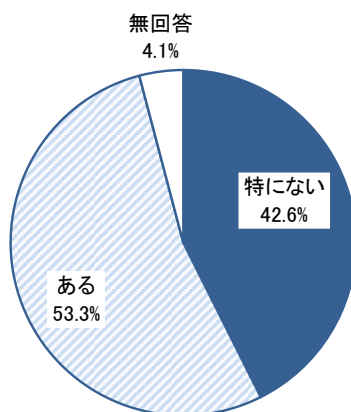
5. 日中の支援について

（1）日中支援で特に配慮していること

問20①	貴施設において、日中の支援で特に配慮していることや力点を置いて取り組んでいること（特色のある取り組みをされていること）はありますか。	単一回答
------	--	------

前回同様「ある」が53.3%で最も多く、「特にない」が42.6%と続いています。

図表 7-5-1 日中支援で特に配慮していること



【参考】前回調査結果
・ある 56.0%
・特にない 36.2%

		n	特にない	ある	無回答
全体		122	42.6	53.3	4.1
問2 施設の種類	障がい者支援施設	109	40.4	55.0	4.6
	障がい児入所施設	13	61.5	38.5	0.0

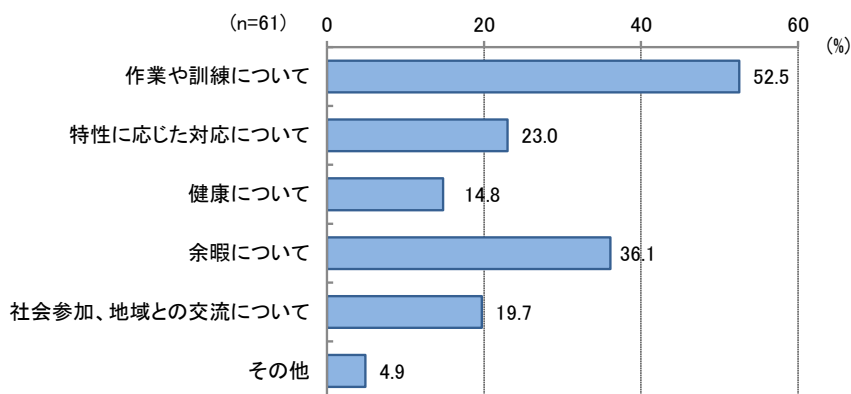
（2）日中支援で特に配慮していることについての具体的内容

問 20②	具体的なことについて、次にご記入ください。	自由記述
-------	-----------------------	------

「作業や訓練について」が52.5%で最も多く、次いで「余暇について」が36.1%、「特性に応じた対応について」が23.0%と続いています。

図表 7-5-2 日中支援で特に配慮していることについての意見

総数	自由記述有	自由記述無
122	61 (50.0%)	61 (50.0%)



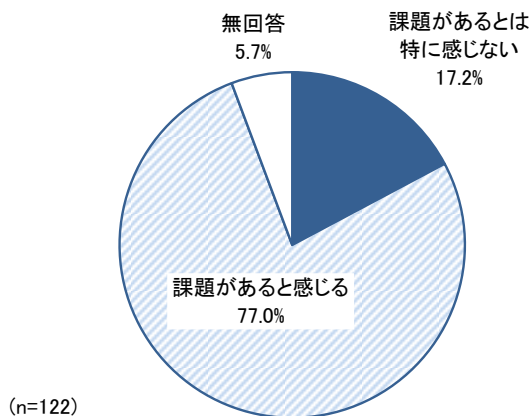
- ・ 自立生活体験部屋を設け、1人暮らしに近い生活体験が出来る様になっている。
- ・ 内職作業、創作活動、レクリエーション、運動など選べるように工夫している。
- ・ 学校の休日(夏休み、冬休み、春休み等)土曜日、日曜日、祝日等については、出来るだけ外へ出れる様に考えている。土曜日は、毎週ボランティアの訪問があり、一緒に遊ぶ時間を作っている。

(3) 日中支援の課題

問21①	貴施設における日中の支援として、課題があると思われることはありますか。	単一回答
------	-------------------------------------	------

前回同様「課題があると感じる」が77.0%で最も多く、「課題があるとは特に感じない」が17.2%と続いています。

図表 7-5-3 日中支援の課題



<p>【参考】 前回調査結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題があると感じる 74.1% ・課題があるとは特に感じない 17.2%
--

		n	課題があるとは特に感じない	課題があると感じる	無回答
全体		122	17.2	77.0	5.7
問2 施設の種類	障がい者支援施設	109	13.8	79.8	6.4
	障がい児入所施設	13	46.2	53.8	0.0

（4）日中支援の課題についての具体的な内容

問21②

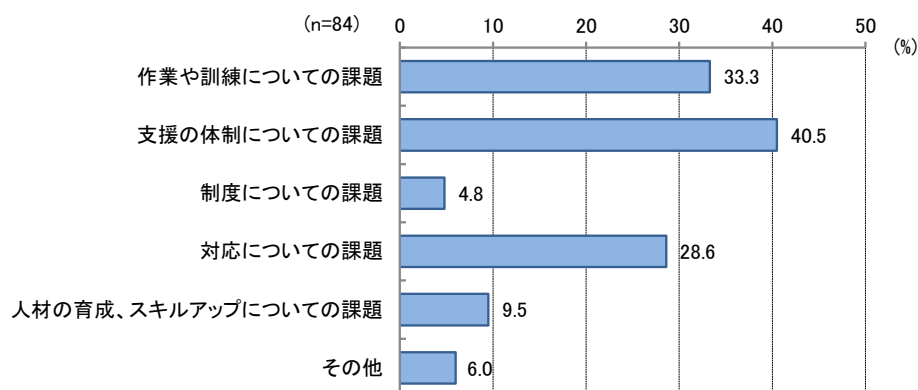
課題があると感じていることについて、次にご記入ください。

自由記述

「支援の体制についての課題」が40.5%で最も多く、次いで「作業や訓練についての課題」が33.3%、「対応についての課題」が28.6%と続いています。

図表 7-5-4 日中支援の課題についての意見

総数	自由記述有	自由記述無
122	84 (68.9%)	38 (31.1%)



- ・介護が必要な高齢の利用者が多く、日中活動としての作業を行う人員確保が取りにくい。
- ・職員の数が少ない中、利用者のADLにも差が出てきているので、元気な人でも長時間の散歩に出られない。
- ・外出、旅行などこれまで実施していた行事がお客様の高齢化に伴いできなくなっている。

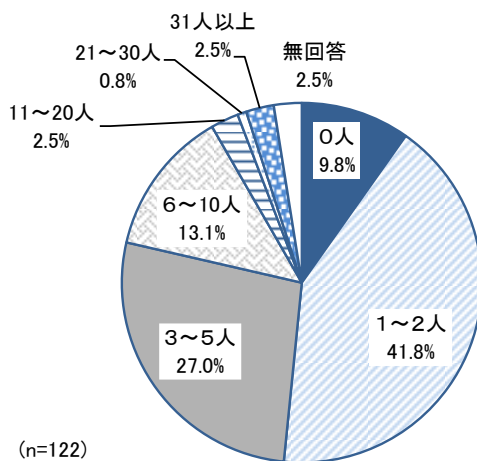
6. 地域移行について

（1）退所された人数

問22①	昨年度（令和6年度中）に貴施設を退所された人数を記入してください。	数値記入
------	-----------------------------------	------

「1～2人」が41.8%で最も多く、次いで「3～5人」が27.0%、「6～10人」が13.1%と続いています。

図表 7-6-1 退所された人数



【参考】前回調査結果
・ 1～2人 39.7%
・ 3～5人 22.4%
・ 0人 19.0%

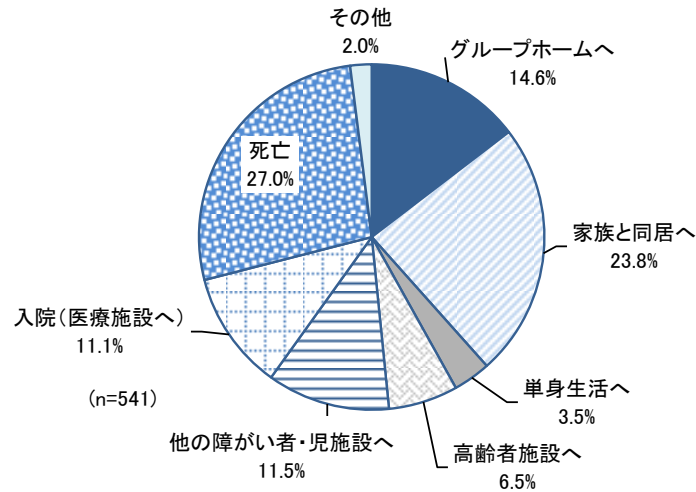
		n	0人	1～2人	3～5人	6～10人	11～20人	21～30人	31人以上	無回答
全体		122	9.8	41.8	27.0	13.1	2.5	0.8	2.5	2.5
問2 施設の種類	障がい者支援施設	109	11.0	46.8	26.6	11.9	0.0	0.0	1.8	1.8
	障がい児入所施設	13	0.0	0.0	30.8	23.1	23.1	7.7	7.7	7.7

(2) 退所された人数の内訳

問22② 前問①で記入された人数の内訳を記入してください。 数値記入

「死亡」が27.0%で最も多く、次いで「家族と同居へ」が23.8%、「グループホームへ」が14.6%と続いています。

図表 7-6-2 退所された人数の内訳



※記載された人数で集計

【参考】前回調査結果
 ・家族と同居へ 25.0%
 ・他の障がい者・児施設へ 18.7%
 ・死亡 18.2%

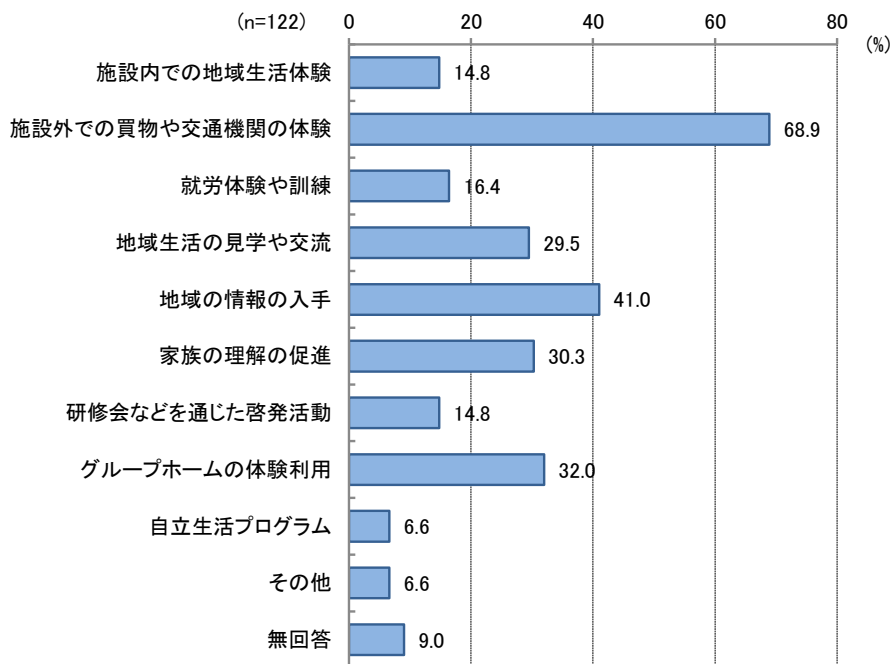
		n	① グループホームへ	② 家族と同居へ	③ 単身生活へ	④ 高齢者施設へ	⑤ 他の障がい者・児施設へ	⑥ 入院（医療施設へ）	⑦ 死亡	⑧ その他
全体		541	14.6	23.8	3.5	6.5	11.5	11.1	27.0	2.0
問2 施設の種類	障がい者支援施設	383	14.6	13.1	4.7	9.1	7.8	14.9	34.5	1.3
	障がい児入所施設	158	14.6	50.0	0.6	0.0	20.3	1.9	8.9	3.8

（3）地域移行に向けた取り組み

問23	貴施設が取り組んでいる地域移行に向けた取り組み内容について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。	複数回答
-----	---	------

「施設外での買物や交通機関の体験」が68.9%で最も多く、次いで「地域の情報の入手」が41.0%、「グループホームの体験利用」が32.0%と続いています。

図表 7-6-3 地域移行に向けた取り組み



【参考】前回調査結果
・施設外での買物や交通機関の体験 42.2%
・グループホームの体験利用 37.9%
・地域の情報の入手 37.1%

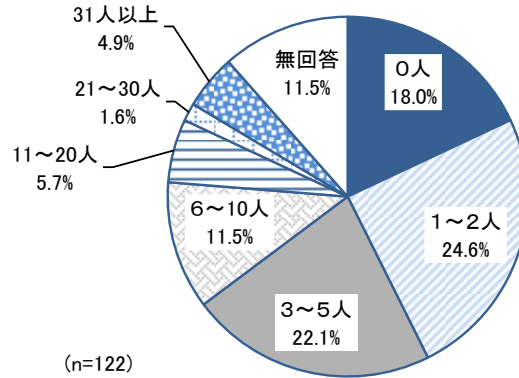
	n	験施設内での地域生活体験	機施設外での買物や交通機関の体験	就労体験や訓練	地域生活の見学や交流	地域の情報の入手	家族の理解の促進	発研修会などを通じた啓活動	利用グループホームの体験	自立生活プログラム	その他	無回答	
全 体	122	14.8	68.9	16.4	29.5	41.0	30.3	14.8	32.0	6.6	6.6	9.0	
問2 施設の種類	障がい者支援施設	109	15.6	68.8	14.7	29.4	39.4	27.5	14.7	29.4	6.4	5.5	9.2
	障がい見入所施設	13	7.7	69.2	30.8	30.8	53.8	53.8	15.4	53.8	7.7	15.4	7.7

（4）地域移行できると考えられる人数

問 24①	貴施設において、地域移行できると考えられる方は何人いますか。	数値記入
-------	--------------------------------	------

「1～2人」が24.6%で最も多く、次いで「3～5人」が22.1%、「0人」が18.0%と続いています。

図表 7-6-4 地域移行できると考えられる人数



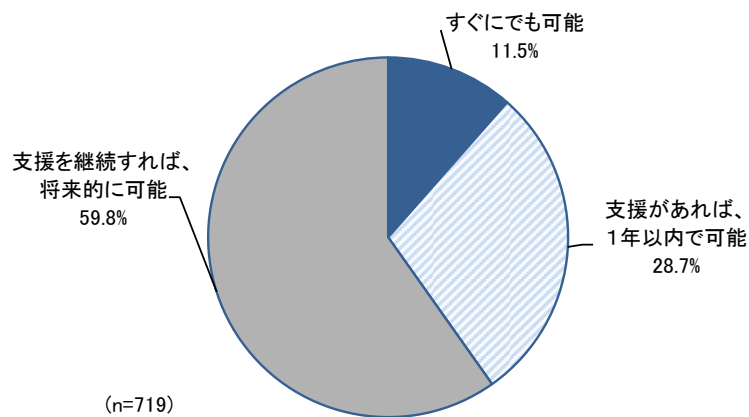
<p>【参考】前回調査結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 0人 27.6% ・ 1～2人 20.7% ・ 3～5人 19.8%
--

（5）人数の内訳

問 24②	前問①で記入された人数の内訳を記入してください。	数値記入
-------	--------------------------	------

前回同様「支援を継続すれば、将来的に可能」が59.8%で最も多く、次いで「支援があれば、1年以内で可能」が28.7%、「すぐにでも可能」が11.5%と続いています。

図表 7-6-5 人数の内訳



※記載された人数で集計

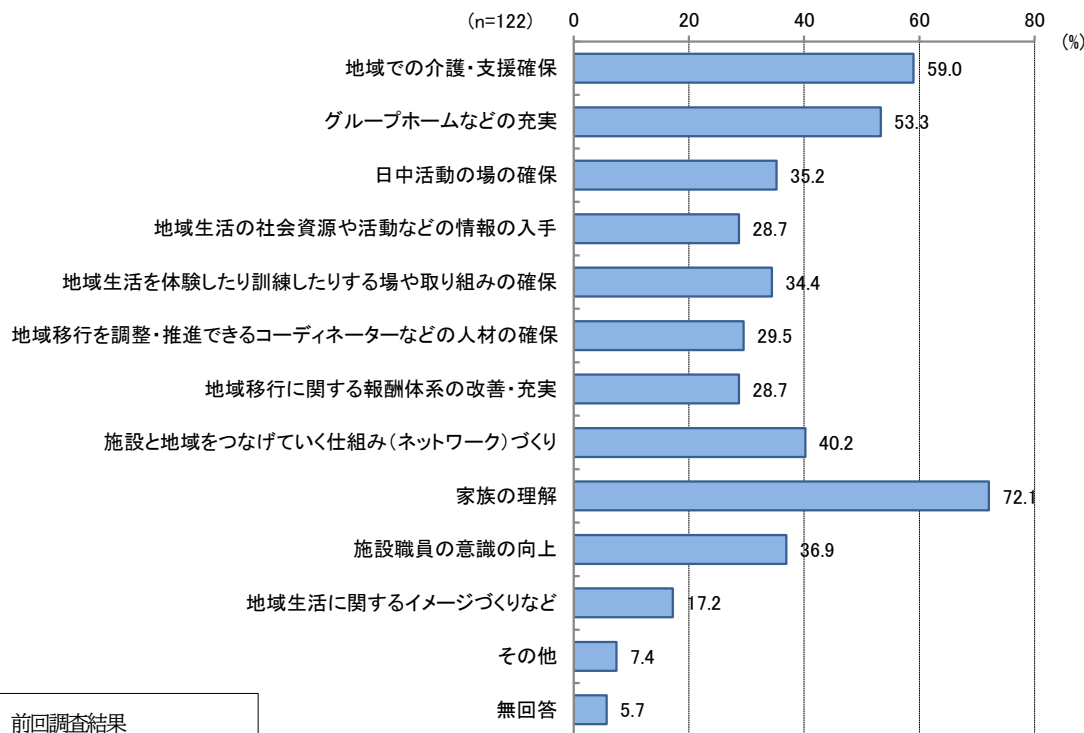
<p>【参考】前回調査結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支援を継続すれば、将来的に可能 55.6% ・ 支援があれば、1年以内で可能 27.8% ・ すぐにでも可能 16.6%
--

（6）地域移行を進めるうえでの課題

問25①	貴施設において、地域移行を進めていくうえで課題であると思われることは何ですか。	複数回答
------	---	------

「家族の理解」が72.1%で最も多く、次いで「地域での介護・支援確保」が59.0%、「グループホームなどの充実」が53.3%と続いています。

図表 7-6-6 地域移行を進めるうえでの課題



【参考】前回調査結果
 ・家族の理解 64.7%
 ・グループホームなどの充実 61.2%
 ・地域での介護・支援確保 51.7%

問2 施設の種類	n	保	充	日	活	地	地	地	地	施	家	施	地	そ	無
		域	実	中	動	域	域	域	域	設	族	設	域	他	回
		域	実	中	動	域	域	域	域	設	家	施	地	そ	無
全 体	122	59.0	53.3	35.2	28.7	34.4	29.5	28.7	40.2	72.1	36.9	17.2	7.4	5.7	
障がい者支援施設	109	60.6	55.0	33.9	24.8	34.9	29.4	29.4	38.5	74.3	36.7	18.3	7.3	4.6	
障がい児入所施設	13	46.2	38.5	46.2	61.5	30.8	30.8	23.1	53.8	53.8	38.5	7.7	7.7	15.4	

（7）地域移行を進めるうえでの課題についての具体的内容

問 25②

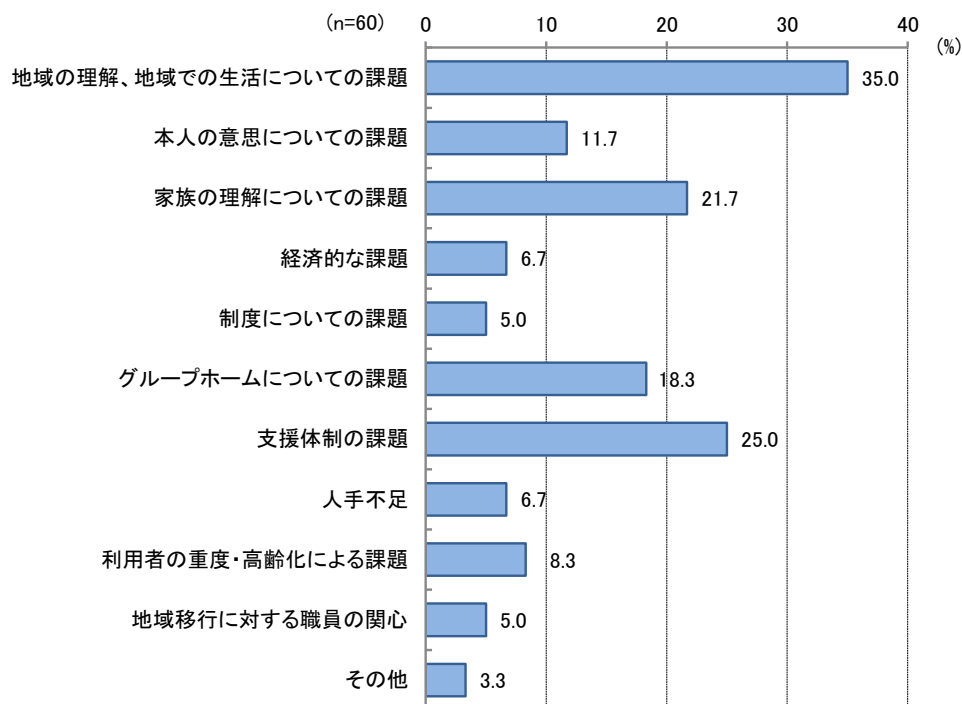
課題があると感じていることについて、次にご記入ください。

自由記述

「地域の理解、地域での生活についての課題」が35.0%で最も多く、次いで「支援体制の課題」が25.0%、「家族の理解についての課題」が21.7%と続いています。

図表 7-6-7 地域移行を進めるうえでの課題についての意見

総数	自由記述有	自由記述無
122	60 (49.2%)	62 (50.8%)



- ・家族がいない、または頼れないケースが多いため、精神的なケアや支えてくれる人が必要だと思う。
- ・移行先がグループのみで、選択肢があまりにも幅狭い。
- ・年金が高くなりつつあるため、医療との連携は必須だと思う。

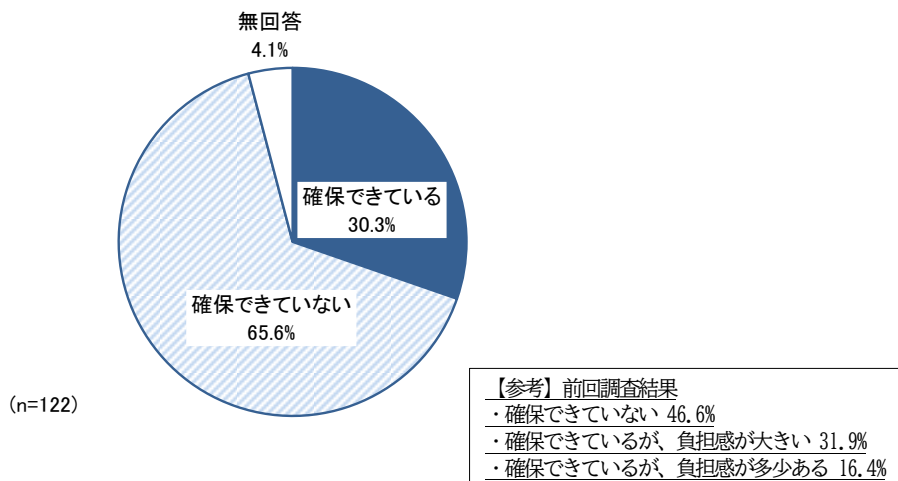
7. 人材確保・育成などについて

（1）人材確保の状況と負担感について

問26	貴施設における人材確保の状況について、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。	単一回答
-----	---	------

「確保できていない」が65.6%で最も多く、「確保できている」が30.3%と続いています。

図表 7-7-1 人材確保の状況と負担感について

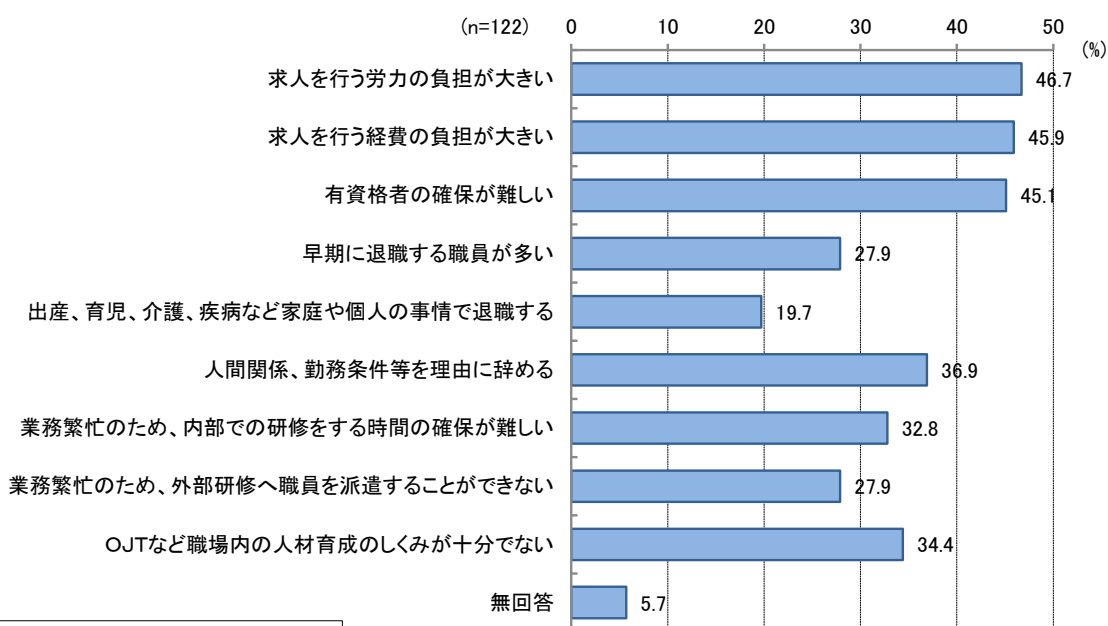


（2）人材確保・定着・育成に関する課題

問27	人材確保・定着・育成に関して、課題があると感じていることはありますか。	複数回答
-----	-------------------------------------	------

前回同様「求人を行う労力の負担が大きい」が46.7%で最も多く、次いで「求人を行う経費の負担が大きい」が45.9%、「有資格者の確保が難しい」が45.1%と続いています。

図表 7-7-2 人材確保・定着・育成に関する課題



【参考】前回調査結果

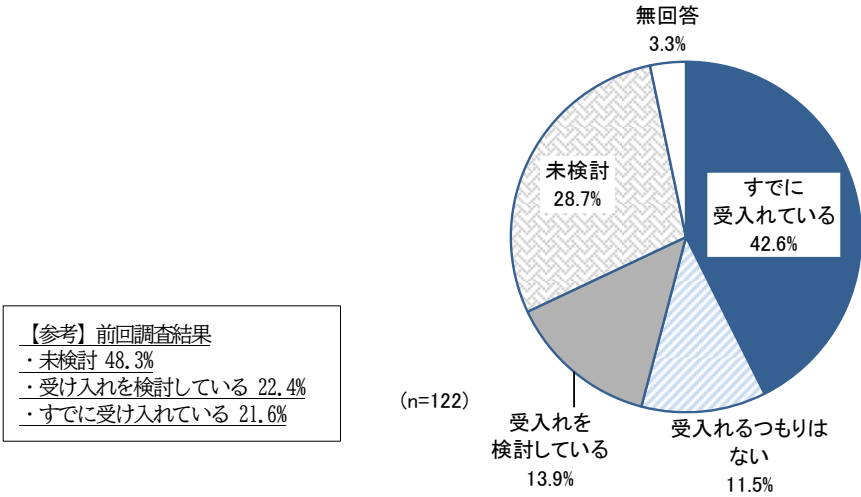
- ・求人を行う労力の負担が大きい 41.4%
- ・求人を行う経費の負担が大きい 37.1%
- ・有資格者の確保が難しい 37.1%

(3) 外国人人材の受入れ状況

問28	貴施設における外国人人材の受入れ状況について、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。	単一回答
-----	---	------

「すでに受入れている」が42.6%で最も多く、次いで「未検討」が28.7%、「受入れを検討している」が13.9%と続いています。

図表 7-7-3 外国人人材の受入れ状況

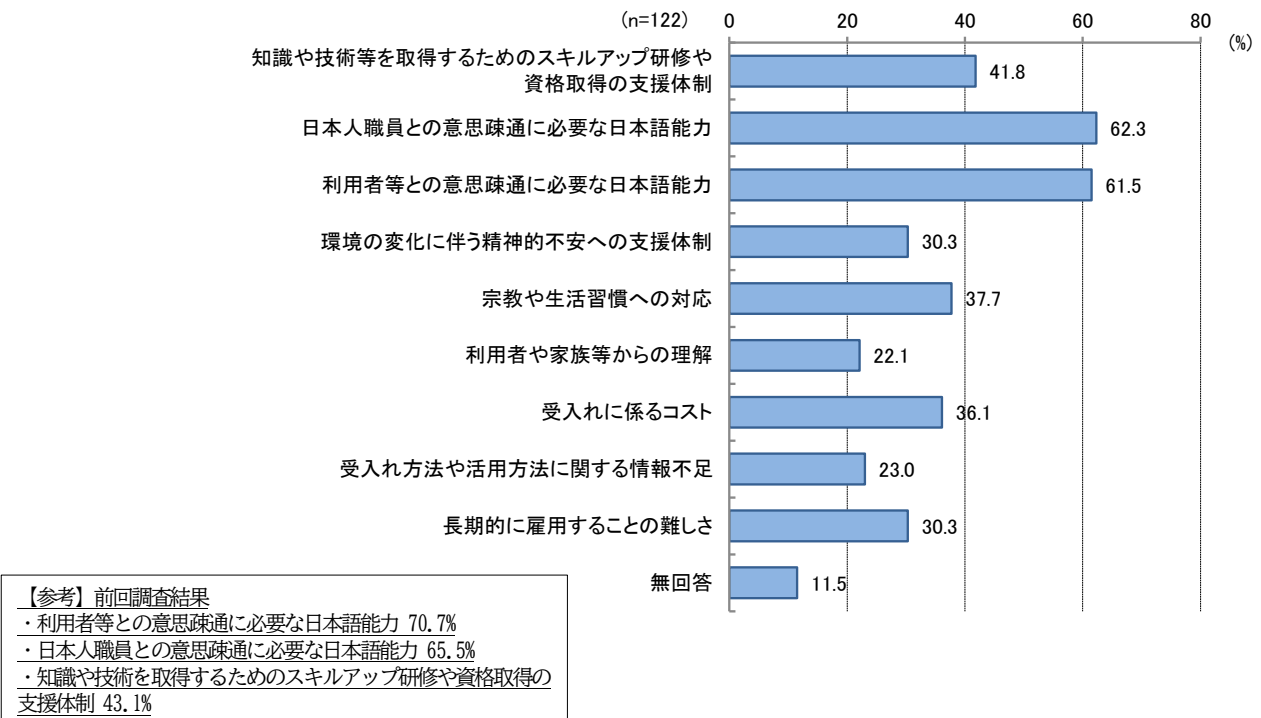


(4) 外国人人材の受入れにあたっての課題

問29	外国人人材を受入れるにあたっての課題について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。	複数回答
-----	--	------

「日本人職員との意思疎通に必要な日本語能力」が62.3%で最も多く、次いで「利用者等との意思疎通に必要な日本語能力」が61.5%、「知識や技術等を取得するためのスキルアップ研修や資格取得の支援体制」が41.8%と続いています。

図表 7-7-4 外国人人材の受入れにあたっての課題



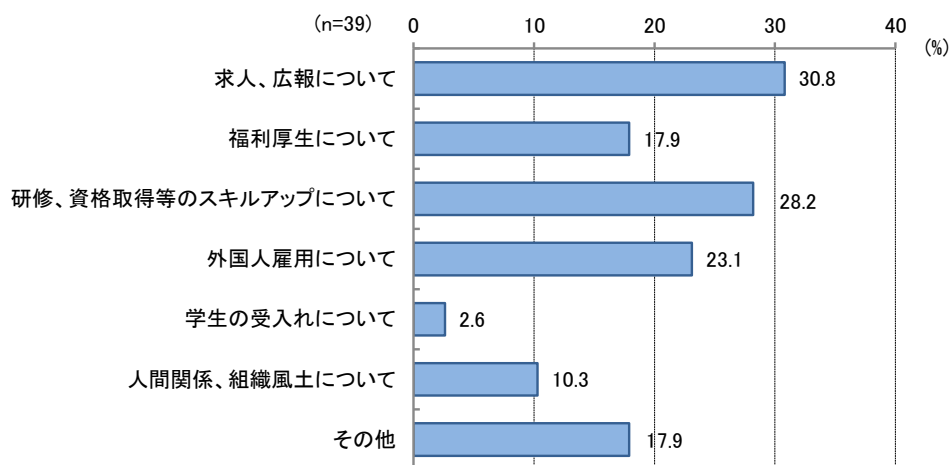
（5）人材確保・定着・育成全般についての意見や取り組み

問30	人材確保・定着・育成全般について、ご意見や取り組まれていること（課題の解決に効果的だったことなど）などがありましたら、ご自由にお書きください。	自由記述
-----	---	------

「求人、広報について」が30.8%で最も多く、次いで「研修、資格取得等スキルアップについて」が28.2%、「外国人雇用について」が23.1%と続いています。

図表 7-7-5 人材確保・定着・育成全般についての意見

総数	自由記述有	自由記述無
122	39 (32.0%)	83 (68.0%)



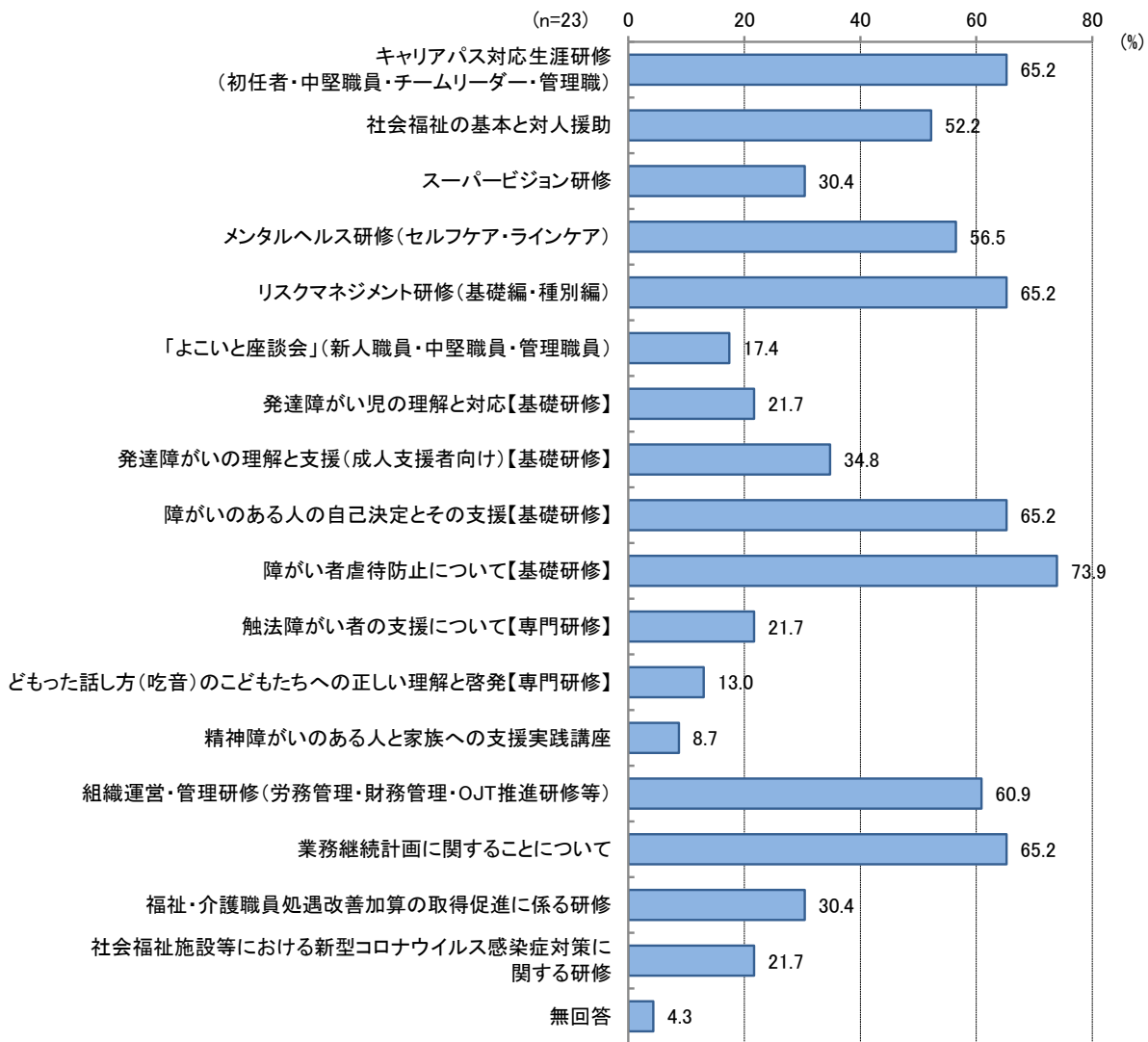
- ・ハローワークの求人、求人サイト、人材紹介、人材派遣等あらゆる媒体と利用するもなかなか応募者が出ない。
- ・特定技能や技能実習など、外国人の人材に頼ったり紹介会社を通じて採用したりしている。
- ・OJT や研修を計画し実施しているが、多くは人間関係がひきかねとなり、仕事が継続できない状況になる方が多い。
- ・DX 化による業務負担軽減、業務改善につながる意見の取り入れ対応。

（6）今後受講してみたい研修

問31	問1で「1. 大阪市内」に○をつけた施設におたずねします。 本市では、施設に対して、下記の研修を実施しておりますが、今後受講してみたい研修の番号すべてに○をつけてください。	複数回答
-----	---	------

「障がい者虐待防止について【基礎研修】」が73.9%で最も多く、次いで「キャリアパス対応生涯研修（初任者・中堅職員・チームリーダー・管理職）」、「リスクマネジメント研修（基礎編・種別編）」、「障がいのある人の自己決定とその支援【基礎研修】」、「業務継続計画に関することについて」がそれぞれ65.2%、「組織運営・管理研修（労務管理・財務管理・OJT推進研修等）」が60.9%と続いています。

図表 7-7-6 今後受講してみたい研修



【参考】前回調査結果

- ・リスクマネジメント研修（基礎編・種別編）68.6%
- ・発達障がいの理解と対応 68.6%
- ・障がい者虐待防止について考える 68.6%

※関連ページ情報

・106p 記載（調査票B：問10）

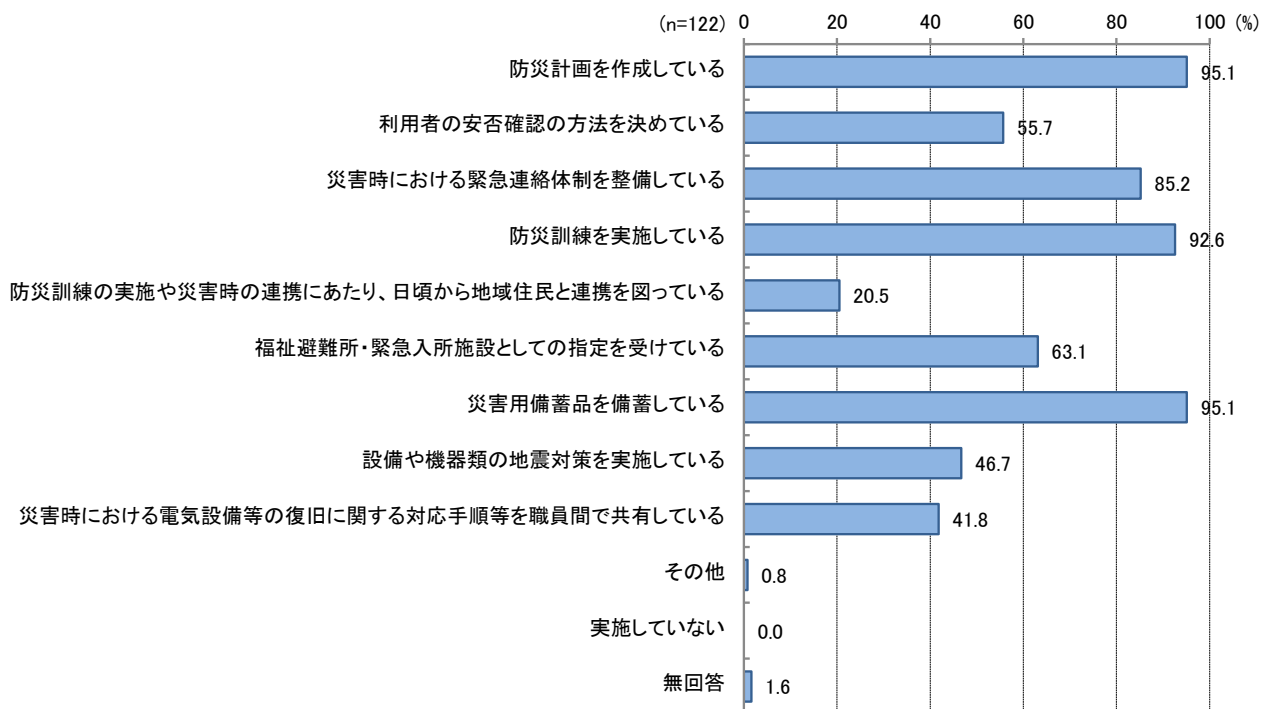
8. 施設の運営について

（1）災害時の備えの取り組み

問 32①	災害時の備えとして、貴施設で取り組んでいることはありますか。	複数回答
-------	--------------------------------	------

「防災計画を作成している」、「災害用備蓄品を備蓄している」がそれぞれ95.1%で最も多く、次いで「防災訓練を実施している」が92.6%、「災害時における緊急連絡体制を整備している」が85.2%と続いています。

図表 7-8-1 災害時の備えの取り組み



【参考】 前回調査結果
 ・災害用備蓄品を備蓄している 89.7%
 ・防災訓練を実施している 87.1%
 ・災害時における緊急連絡体制を整備している 79.3%

※関連ページ情報
 ・126p 記載（調査票B：問22）

（2）災害時の備えの取り組みを実施していない理由

問 32②	前問①で「11. 実施していない」に○をつけた施設にお聞きします。 その理由を次にご記入ください。	自由記述
-------	--	------

問 32①の回答で「実施していない」が0.0%、回答者は0となっています。

図表 7-8-7 障がい者施策全般についての意見

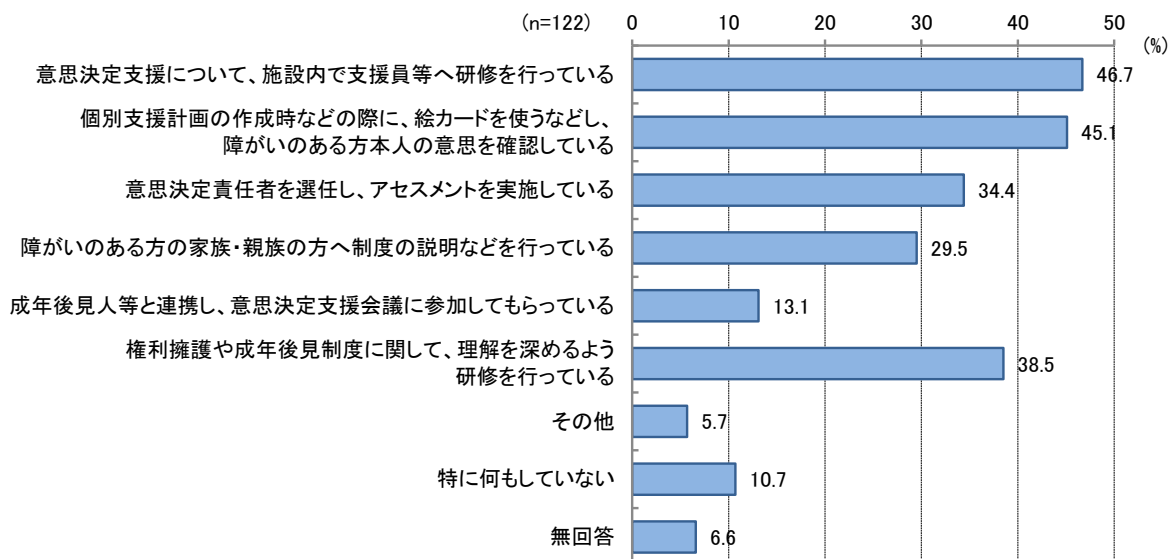
総数	自由記述有	自由記述無
0	0 (0.0%)	0 (0.0%)

（3）意思決定支援に関して

問 33	意思決定支援に関して、おたずねします。 障がいのある方の意思決定支援について、貴施設ではどのように取り組まれていますか。	複数回答
------	---	------

「意思決定支援について、施設内で支援員等へ研修を行っている」が46.7%で最も多く、次いで「個別支援計画の作成時などの際に、絵カードを使うなどし、障がいのある方本人の意思を確認している」が45.1%、「権利擁護や成年後見制度に関して、理解を深めるよう研修を行っている」が38.5%と続いています。

図表 7-8-3 意思決定支援に関して



【参考】 前回調査結果

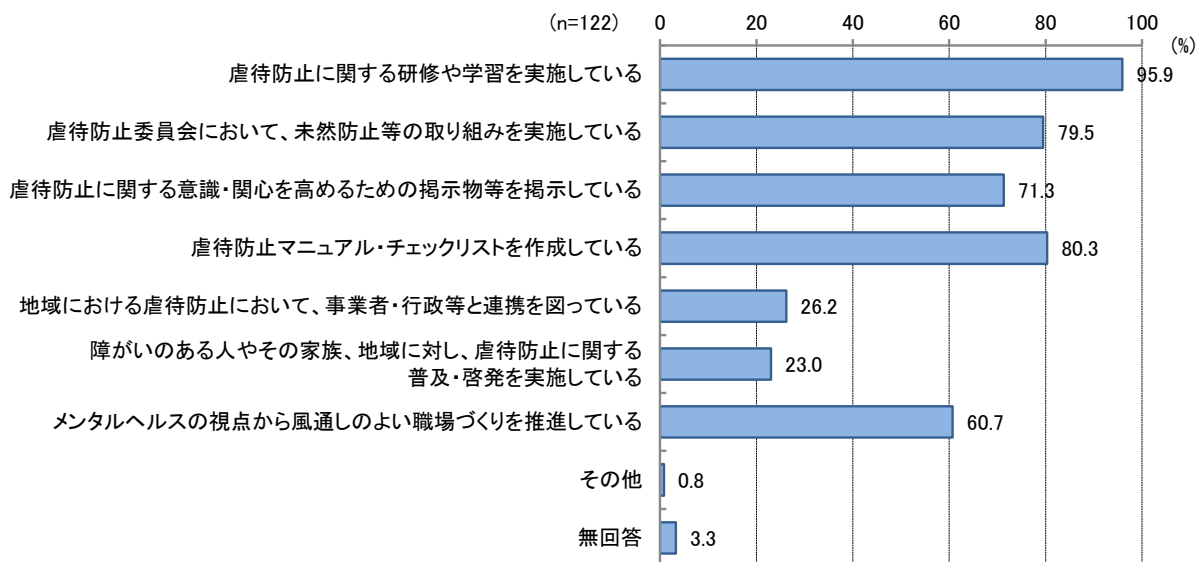
- ・意思決定について、施設内で支援員等へ研修を行っている 44.8%
- ・権利擁護や成年後見制度に関して、理解を深めるよう研修を行っている 44.0%
- ・個別支援計画の作成時などの際に、絵カードを使うなどし、障がいのある方本人の意思を確認している 27.6%

（4）虐待防止に向けての取り組み

問 34	障がい者（児）虐待防止に向けて取り組んでいる内容について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。	複数回答
------	--	------

前回同様「虐待防止に関する研修や学習を実施している」が95.9%で最も多く、次いで「虐待防止マニュアル・チェックリストを作成している」が80.3%、「虐待防止委員会において、未然防止等の取り組みを実施している」が79.5%と続いています。

図表 7-8-4 虐待防止に向けての取り組み



【参考】 前回調査結果
 ・虐待防止に関する研修や学習を実施している 96.6%
 ・虐待防止マニュアル・チェックリストを作成している 80.2%
 ・虐待防止委員会において、未然防止等の取り組みを実施している 78.4%

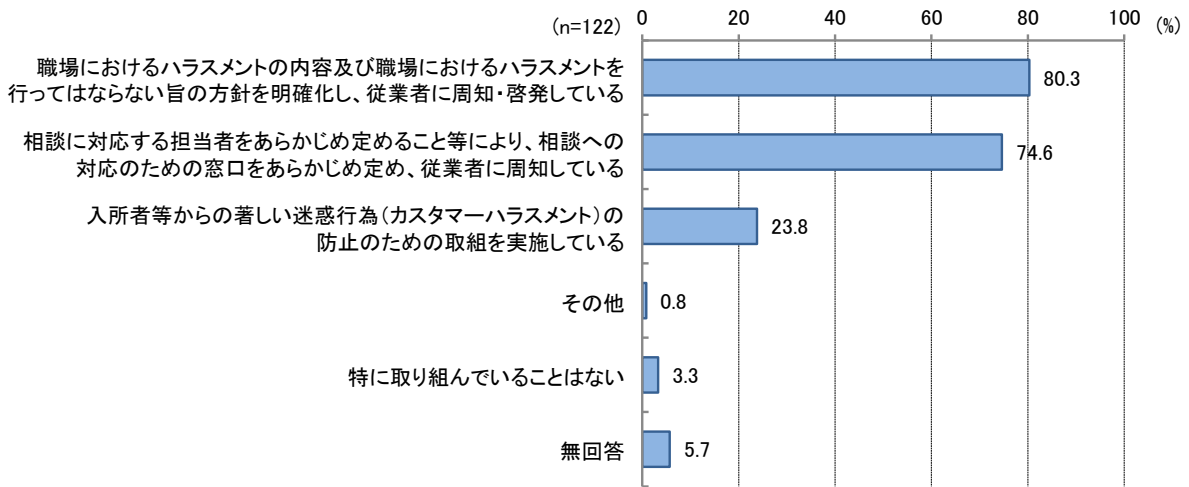
※関連ページ情報
 ・129p 記載(調査票B:問23)

（5）ハラスメント対策の取組状況

問35	セクハラ・パワハラ等のハラスメントへの対策は事業主の義務であり、指定障がい福祉サービス事業者等の運営基準においてもハラスメント防止措置を講じることが求められていますが、貴施設におけるハラスメント対策の取組状況について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。	複数回答
-----	--	------

前回同様「職場におけるハラスメントの内容及び職場におけるハラスメントを行ってはならない旨の方針を明確化し、従業員に周知・啓発している」が80.3%で最も多く、次いで「相談に対応する担当者をあらかじめ定めること等により、相談への対応のための窓口をあらかじめ定め、従業員に周知している」が74.6%、「入所者等からの著しい迷惑行為（カスタマーハラスメント）の防止のための取組を実施している」が23.8%と続いています。

図表 7-8-5 ハラスメント対策の取組状況



【参考】前回調査結果

- ・職場におけるハラスメントの内容及び職場におけるハラスメントを行ってはならない旨の方針を明確化し、従業員に周知・啓発している 82.8%
- ・相談に対応する担当者をあらかじめ定めること等により、相談への対応のための窓口をあらかじめ定め、従業員に周知している 70.7%
- ・入所者等からの著しい迷惑行為（カスタマーハラスメント）の防止のための取組を実施している 10.3%

※関連ページ情報

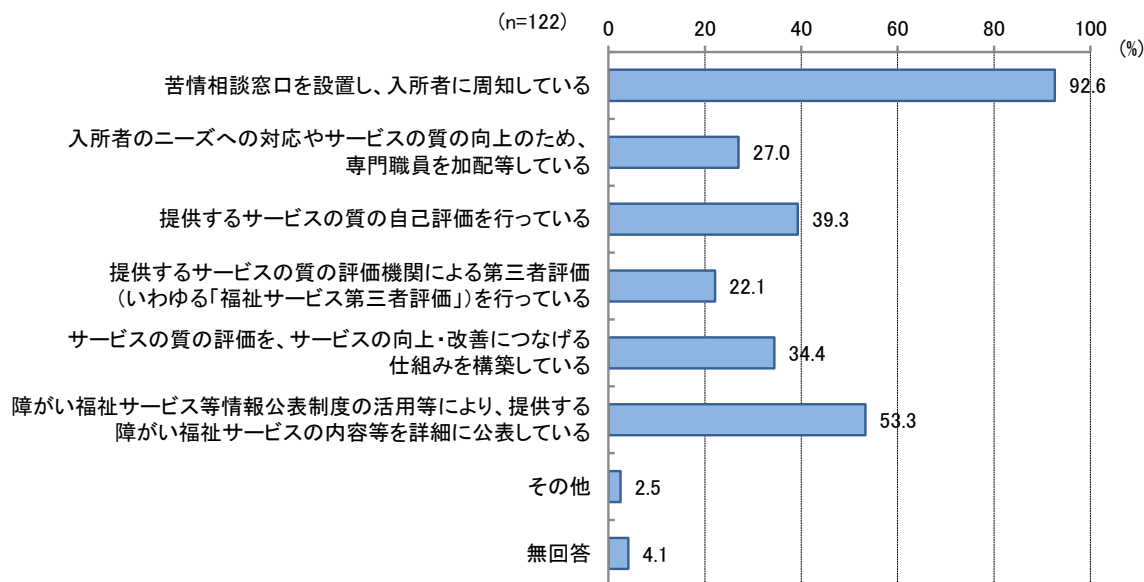
・130p 記載（調査票B：問24）

（6）障がい福祉サービスの質の向上のための取り組み

問36	障がい福祉サービスの質の向上のために貴施設で取り組んでいる内容について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。	複数回答
-----	---	------

「苦情相談窓口を設置し、入所者に周知している」が92.6%で最も多く、次いで「障がい福祉サービス等情報公表制度の活用等により、提供する障がい福祉サービスの内容等を詳細に公表している」が53.3%、「提供するサービスの質の自己評価を行っている」が39.3%と続いています。

図表 7-8-6 障がい福祉サービスの質の向上のための取り組み



【参考】 前回調査結果
 ・苦情相談窓口を設置し、入所者に周知している 87.9%
 ・提供するサービスの質の自己評価を行っている 39.7%
 ・障がい福祉サービス等情報公表制度の活用等により、提供する障がい福祉サービスの内容等を詳細に公表している 36.2%

※関連ページ情報
 ・131p 記載(調査票B:問25)

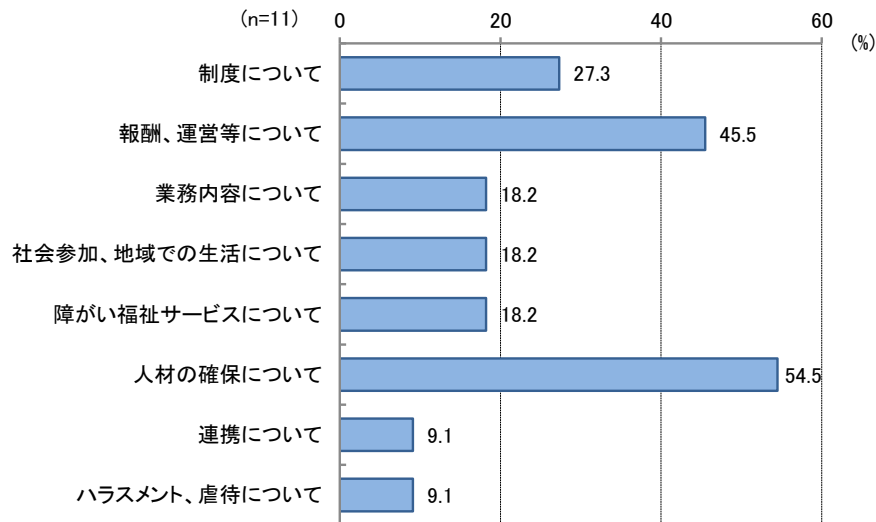
（7）障がい者施策全般についての意見

問 37	障がい者施策全般についてご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。	自由記述
------	---------------------------------------	------

「人材の確保について」が54.5%で最も多く、次いで「報酬、運営等について」が45.5%、「制度について」が27.3%と続いています。

図表 7-8-7 障がい者施策全般についての意見

総数	自由記述有	自由記述無
122	11 (9.0%)	111 (91.0%)



- ・営利法人が障がい福祉サービスに多数参入しているが、支援力のない事業所が多い。その結果、利用者が不利益を被っている。その事業所で支援できない利用者がたらい回しにされている。各事業所で適切な支援が提供されているのか厳重なチェック体制を構築していただきたい。
- ・施設の老朽化に伴う環境整備への補助制度を継続・強化してほしい。
- ・年々やるべきことが増えており、特に業務(直接支援、デスクワーク)が多忙過ぎる。社内で業務の効率化も取り組んでいるが、行政側もう少し業務を簡略してほしい。他産業に比べて賃金が安い。人材が集まらない事に拍車がかかっている。

※405 ページ、第12章（3）に、全調査票をまとめたコメントを掲載しています。